

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

社 会		東京書籍
総 評		<p>児童が学習の見通しをもちやすいよう、各中単元を「つかむ」「調べる」「まとめる」の流れで構成されている。「まとめる」では、様々な表現方法でまとめる活動が示されており、伝え方を育成する工夫もされている。発達段階に応じて資料配置や量、大きさも工夫されており、児童が比較して考えやすくなっている。</p> <p>一方、どの「見方・考え方」を働かせるかが分かりにくい面がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 「いかす」では、既習内容をもとに自分たちの身の周りの問題について考えたり話し合ったりすることや、社会に関心をもつきっかけとなる提案がされており、よりよい社会を児童が考えられるように配慮されている。①②</p> <p>○ 「まとめる」では、様々な立場の人になりきってその視点で社会的事象を説明したり、キャッチコピーを考えたりと、多角的な思考や幅広い表現方法に挑戦できるように配慮されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 多くのページに働かせるべき「見方・考え方」を示しており、課題追究したり解決したりすることについて配慮されている。①</p> <p>○ 要所に「学び方コーナー」があり、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の観点で学びを手助けする工夫がされている。②</p> <p>○ 国際編での現地の方へのインタビューが最も多く、現地の人の言葉で様子を知り、自分たちのくらしのようすとの違いや共通点について考えを深められるように配慮されている。③</p> <p>○ 各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」の記載があり、児童も指導者も学習の流れやどのようなことを学習すればよいかが見えやすいよう工夫されている。⑥</p>
	3 外的要素	<p>○ 5、6年生は上下巻2冊に分かれており、持ち運びがしやすくなっている。①</p> <p>○ 6年生では本文中にある「ことば」に取り上げる言葉をゴシック体の太字にし、ポイントを捉えやすいように配慮されている。②</p> <p>○ 3年生の「市のようす」では、単元を通して資料の配置を統一しており、児童が前時での学習と関連づけて学習することがしやすく工夫されている。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 発展ページとして「ひろげる」「いかす」があり、総合的な学習の時間などとの横断的な学習がしやすいよう工夫されている。①</p> <p>○ 「まとめる」項では「まとめる活動にことば（キーワード）を生かそう」という記載があり、重要語句を活用して自分の言葉で話し合ったり書いたりしてまとめていくことができるよう工夫されている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 6年生の「歴史編」では、年表資料数が多く、学習する時代のできごとを時系列に沿って学習できるように工夫されている。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 6年生「政治・国際編」のP.24～P.31の単元のみ、「調べる」の記載の下に問いではなく活動内容が書かれており、統一感に欠ける。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 6年生の「歴史編」P.128～141に「見方・考え方」のマークが無い。①</p>
	3 外的要素	<p>○ どの「見方・考え方」を使う場面かイラストからイメージしにくい。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ イラストが豊富だが、中には写真資料の方が適切なものもある。</p>
	5 資料・その他	<p>○ 発達段階に応じて資料が精選されているため、3、4年生のコラム等資料が少ない。</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

社 会		教育出版
総 評		<p>毎時間の学習における、「この時間の問い」と「次につなげよう」が記載されており、単元の中でつながりをもたせることができるようになっている。各単元の終わりには、「まとめる」活動についてのガイドがあり、子どもたちが学習したことを整理したり、生かしたりして学習を進めることができる。調べ学習に活用できる「学びリンク」の表記が豊富である。</p> <p>その反面、資料配置や大きさに統一性がないため、文章記述の部分が読みにくくなっている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 文章の合間に、資料が貼られており、資料を確認しながら文章を読んでいくという流れになるため、資料の読み取りを重視している。⑤
	2 内容の取扱い	○ 単元全体を、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」に分け、それぞれのページにどの段階かが示されており、単元全体を見通しながら学習をすすめることができるようになっている。⑥ ○ 資料が豊富にバランスよく記載されており、文章を読み進めていくと自然に資料の読み取りを行うという構成になっている。② ○ 資料に触れながら、教科書の本文を読み進めるようなレイアウトになっている。⑤
	3 外的要素	○ キーワードは、太文字で記載されており、分かりやすくなっているため、重要な語句を意識させやすくなっている。②
	4 構成・配列	○ 毎時間、「問い」と「次につなげよう」が記載されていることで、学びに連続性をもたせられるような構成になっている。② ○ 3年生では、「店ではたらく人と仕事」の後に、「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を学習する流れとなっており、子どもたちが身近に触れているものから学習に取り組んでいくという単元の流れになっているため、普段の生活の中で学習したことを生かして学びを進めていくことができる構成・配列になっていると言える。②
	5 資料・その他	○ 写真、グラフ、文書、地図などの資料が偏りなく充実して記載されている。①
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 文章と、資料の配置について統一性がない。文章を読み進めていくと、必然的に資料に目を通すというレイアウトになっている。これは、資料から分かることを読み取って考え、文章の内容を確認するために資料に目を通すことを重視していると言えるが、何を読んだらよいか、まずは何に着目して教科書を読み進めていけばよいか迷う児童にとっては、読み進めにくくなっている。③
	2 内容の取扱い	○ 社会的な見方・考え方については、6つ（「時期や変化」「場所や広がり」「比べる」「くふうや関わり」「関連付ける」「総合する」）を取り上げているが、紙面では、キャラクターがセリフを吹き出して述べているのみで、どの見方・考え方を働かせればよいか分かりにくくなっている。①
	3 外的要素	○ 高学年の教科書の重量が重く、児童の負担が大きい。 ○ 字体については、丸みを帯びた字体になっており、他教科に比べて違いがあるため、配慮を要する。②
	4 構成・配列	○ 資料の配置場所に統一性がないため、どこから読めばいいのか、分かりにくくなっている。②
	5 資料・その他	○ 「まなびリンク」について、何について検索することができるのか、記載が分かりにくく、活用しにくい。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

社 会		日本文教出版
総 評		<p>児童の発言で学習が進んでいく授業の過程が意識されたつくりになっており、「話し合う活動」が重視されており、児童の主体性と対話的な学びが大切にされている。また、ノート例や学び方の例が豊富にしめされており、学習者主体の教科書になっている。また、授業や学びの振り返りのコーナーが充実しており、学習者の深い学びを保障したつくりとなっている。</p> <p>しかし、3年生ではフォントが小さく、文字量が多い面も見られる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に社会科学習では、何を学ぶかが、記載されている。②</li> <li>○ 単元の終末に、話し合いの着眼点がキャラクターの話し合っているイラストの吹き出しで示されたり、ノートのまとめ方をノート例で示したりして、思考・判断・表現するときの参考となるように配慮されている。④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の学習の仕方が示され、「話し合う」が記載されている。③</li> <li>○ 話し合いで予想される意見、調べたことがわかる意見がキャラクターの吹き出しで囲まれており、見やすい。③</li> <li>○ 学習カードの例や書き方が記載されている。②</li> <li>○ 各単元に学習計画がわかりやすく記載されている。①</li> <li>○ どんな見方・考え方を働かせるのかが、各単元に示されており、学習のポイントがわかりやすい。①</li> <li>○ 要所に「学び方・調べ方コーナー」があり、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点で学びを手助けする工夫がされている。②⑤</li> <li>○ キャラクターの吹き出しにより、子どもの思考の流れがとらえやすく、問題解決的な学習が展開しやすい工夫がされている。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真資料が大きく見やすい。③</li> <li>○ さし絵がたくさん使用されており、特にキャラクターの表情に合わせた「?」「!」などがついており、疑問や気づきを表すなど細かい点まで工夫されている。③</li> <li>○ 重量がどの学年も軽く、持ち運びがしやすくなっている。①</li> <li>○ グラフ、地図に色の工夫や斜線やドットなどが使用されており、ユニバーサルデザインの工夫が感じられる。⑥</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真や資料のレイアウトは、資料と本文との関係が見やすいように配置されている。①</li> <li>○ 単元の終末のまとめるページでは、単元の学習内容や学習問題の答えを話し合う活動がしめされており、対話を通して振り返ることができるように工夫されている。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6年生の学習でも地図資料が73点と多く、特に歴史では60点も掲載されているため、位置や空間的な見方・考え方が大切にされている。①</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の進め方について不明瞭な点があり、指導の進め方には工夫が必要である。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題が示されているが、それについてどう考えるかの記述がよわい面がある。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字のフォントが小さく、文章量が多く感じる。②</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真資料が大きく掲載されているが、その分、他の資料の掲示するスペースが少なくなっている。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図資料が多いが、3年生では、子どもが読み取る際に難しい資料もある。②</li> </ul>

